

令和2年度食品試験検査の実施結果について

1 県内産農産物の残留農薬検査

(検査実施機関：一般財団法人茨城県薬剤師会検査センター)

県内で生産された20品種52検体の農産物を卸売市場などから収去し、108項目の農薬について試験検査を実施した結果、残留基準値を超えて不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象農産物	不適検体数	備考
52検体(20品種)	0	検査対象農薬：108項目

(検査対象農産物とその検体数の内訳)

トマト4、大葉2、きゅうり4、カボチャ2、メロン2、にんじん3、ピーマン2、なす4、すいか2、ねぎ2、とうもろこし2、なし2、レタス4、キャベツ4、はくさい3、かんしょ2、だいこん3、ブロッコリー1、ごぼう2、れんこん2

2 輸入食品の試験検査

(検査実施機関：県西食肉衛生検査所)

県内に流通する、下表の輸入食品36検体について残留動物用医薬品検査を実施した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象	検体数	結果	原産国	
食肉	牛肉	8	適合	アメリカ、オーストラリア
	豚肉	8	適合	スペイン、アメリカ、メキシコ、カナダ
	鶏肉	8	適合	タイ、ブラジル
エビ	8	適合	ベトナム、インド、インドネシア、アルゼンチン、エクアドル	
はちみつ	4	適合	ドイツ、中国、アルゼンチン	
合計	36			

3 食品中の動物用医薬品試験検査

(検査実施機関：県北・県南・県西食肉衛生検査所)

県内に流通する牛肉、豚肉、鶏肉等の計265検体について、動物用医薬品の検査を実施した結果、残留基準値を超えて不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検体	牛肉	豚肉	鶏肉	鶏卵	はちみつ	計
検査検体数	45	128	56	28	8	265
不適検体数	0	0	0	0	0	0

(検査項目)

動物用医薬品（抗生物質、合成抗菌剤、駆除剤等）

4 魚介類の水銀・PCBの試験検査

(検査実施機関：一般財団法人茨城県薬剤師会検査センター)

県内で採取された魚介類20検体について、環境汚染物質である水銀及びPCBによる汚染の有無の検査を実施した結果、厚生労働省が定める暫定基準値を超えるものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象	検体数	不適検体数	検査項目
淡水魚介類	7	0	水銀、PCB
近海魚介類	13	0	水銀、PCB
計	20	0	

(検査対象魚介類の内訳)

- ・淡水魚介類（採取：霞ヶ浦、北浦、涸沼）
シジミ、シラウオ、ワカサギ
- ・近海魚介類（採取：北茨城市沖～日立市沖、大洗海岸沖、波崎）
アジ、サバ、ムシガレイ、カナガシラ、ヤリイカ、ハマグリ、カレイ、スズキ、エビ、ヒラメ、アナゴ